



本学は2025年に30周年を迎えます

茨城県立医療大学
IBARAKI PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

保健医療科学研究科

大学院

令和7年度
学生募集

修士を1専攻にして学問領域横断型へ

出身専門分野を問わず、幅広い人材募集

全国どこからでもWEB受講可能

説明会
動画配信



さらなる発展を
求めるあなたに

出願期間 令和6年8月20日(火)～8月26日(月)

試験日 令和6年10月6日(日)

分野横断的な課題解決能力を 身につけた人材の育成

博士前期課程では、専攻を「保健医療科学」に統合することにより、高度化・複雑化している保健医療分野の課題に対して、複数の領域にわたる高度な専門知識を身に付けた学問領域横断的共創と多職種協働を推進する人材を育成します。

夜間にリモートで 全国どこからでも受講が可能

講義は主に平日の18:30～21:40に遠隔で行うため、日中は研究に打ち込んで夜間に講義を受けることができます。また、日中働いている社会人でも修学しやすくなっています。複数の指導教員の下で、早期から主査・副査のアドバイスを取り入れながら研究を進めることができます。

職種に限定されず幅広い 修学や研究が可能

博士前期課程では、令和6年度に「医科学領域」を新設し、職種に限定されことなく、保健医療分野で活躍を望む幅広い学生の修学が可能です。短期大学、高等専門学校、専修学校等を卒業している方でも、出願資格認定審査を受けることで大学院を受験することができます。

地域や国際社会で活躍できる 高度医療人を育成します。

本大学院は、学士課程等の継続教育の場として、地域や国際社会で活躍できる高度医療専門職・教育者・研究者を育成します。博士前期課程では、各専門領域の科学技術や研究能力の基盤形成に重点を置き、さらに博士後期課程では、各専門領域の連携強化に重点を置いて、利用者・患者中心の保健医療を先導して実践できる臨床指導者並びに新領域を開拓する研究者の育成を目指します。



教育研究領域

○学問分野横断的共創と、地域における医療系の多職種協働を推進するため、令和6年度に、博士前期課程を統合しています。

○社会人対応のカリキュラム：講義等は主に平日の夕方・夜間に遠隔で行います。

博士前期課程				博士後期課程
修業年限2年				修業年限3年
保健医療科学専攻定員18名				保健医療科学専攻定員5名
看護学領域	理学療法学・ 作業療法学領域	放射線技術科学 領域	医科学領域	看護学領域 理学療法学領域 作業療法学領域 放射線技術科学領域
取得できる学位				取得できる学位
修士(看護学)	修士(理学療法学) または 修士(作業療法学)	修士 (放射線技術科学)	修士(医科学)	博士(保健医療科学)

※看護学領域では、高度実践看護師(小児看護・老年看護・精神看護)を養成するCNSコースあり。

※放射線技術科学領域では、医学物理士を養成するMPコースあり。

入試概要

専攻及び入学定員

- 博士前期課程(修業年限2年)
保健医療科学専攻……………18名
- 博士後期課程(修業年限3年)
保健医療科学専攻……………5名

出願期間

令和6年8月20日(火)～8月26日(月)

試験日

令和6年10月6日(日) 試験会場：茨城県立医療大学
合格発表：令和6年10月25日(金)

修学支援制度

授業料減免制度

経済的な理由により授業料の納付が困難な方は、授業料が免除となる場合があります。

長期履修制度

仕事の事情等により標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)での修了が困難な方は、標準修業年限分の授業料で1年長く修業することができます。

教育訓練給付制度

厚生労働大臣により一般教育訓練給付金の対象講座の指定を受けています。一定条件を満たす方は、修了時に授業料等の一部(最大10万円)が雇用保険から支給されます。